

令和7年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	05 地球環境・自然環境 ～豊かな水と緑が調和したまち～			
	施策	18 地域、自然環境 ー快適な生活環境の保全を目指しますー			
重点プロジェクト		美しく活気ある暮らしやすいまちプロジェクト			
総合戦略		安全・安心な暮らしを守るとともに、デジタルの力を活用した魅力ある地域を構築する			
主管課	市民活動推進部 環境課	評価責任者		吉村 敏世	
		評価日		令和8年6月2日	
関連課		公園緑地課、道路課、上下水道課			
目標		国や県の動向を踏まえ、より効果的な温室効果ガスの削減やエネルギー対策などの実施、地球温暖化対策に関する普及・啓発を進めます。また、大気や水質など環境情報の把握に努めるとともに、市民、事業者等との協働により快適な環境づくりを進めます。			
施策目標の実現に向けた取組		（1）脱炭素社会の推進 ○地球温暖化による地球全体の平均気温上昇によって引き起こされる様々な気候変動問題は、自然の生態系や気候などに深刻な影響を与えるとともに、世界規模での対策が必要となっています。市においても国・県と連携しながら太陽光設備の導入・設置などによる再生可能エネルギーの利用促進等に取り組み、令和32年（2050年）には温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「脱炭素型まちづくり」を目指します。 （2）環境にやさしいまちづくりの推進 ○健康で文化的な生活を送るためには、住みよい環境づくりが必要となります。そのためには良好なまちの景観を保つとともに、安全・安心に住める環境づくりや、清潔で憩いのある環境づくりを進めるための施策を展開します。 （3）自然と調和した環境づくりの推進 ○動植物の生息・育成状況に関する情報を収集し、良好な生態系の保全に努めます。 ○生態系に影響を及ぼす外来生物などへの注意喚起や情報発信を充実するとともに、防除対策を推進します。			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	二酸化炭素（CO2）排出量※減少を目指す指標【総合戦略】						
		説明	市庁舎をはじめとする公共施設等から排出される二酸化炭素排出量。二酸化炭素を削減することで、地球温暖化対策を推進する指標となるため。						
		単位	t-CO2						
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	28,142	26,803	25,464	24,125	22,786	21,447	20,108
		実績値	31,767	31,885					
	指標2	指標名	地域環境美化自主活動延べ参加者数【総合戦略】						
		説明	環境美化活動団体による環境美化活動参加者数						
		単位	人						
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	7,099	7,276	7,458	7,644	7,835	8,031	8,232
		実績値	6,026	6,214					
	指標3	指標名	環境学習講座参加者数【総合戦略】						
		説明	ふじみ野市・三芳町環境センターで開催している環境学習講座の参加者人数（大人、子どもとその保護者）						
		単位	人						
	活動	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	720	720	720	720	720	720	720
		実績値	688	606					
	指標4	指標名							
		説明							
		単位							
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標5	指標名							
		説明							
		単位							
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	105,881	96,931	121,033	0	0	0	0
	人件費	37,715	48,265	47,459	0	0	0	0
収入	特定財源	4,516	14,085	3,562	0	0	0	0
	一般財源	139,080	131,111	164,930	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	【総合戦略】 地球温暖化対策 ごみ量削減の取組、緑のカーテンの設置、庁内でのクールビズの実施等を行いCO2排出量の抑制に努めた。また住宅用スマートエネルギーシステム導入費用及び電気自動車等導入費用を補助しCO2削減を図るとともに、環境フェア等での市民等への意識啓発に努めた。	ごみ量削減の取組、緑のカーテン設置、市民、職員への意識啓発、クールビズ等を実施した。また住宅用スマートエネルギーシステム導入や電気自動車等導入費用を補助し約209 t-CO2を削減した。	環境基本計画・地球温暖化対策推進事業
取組②	【総合戦略】 地域環境美化活動 地域クリーン推進員を中心に、地域の巡回、ごみ集積所の分別状況の確認等を行い、美化活動の推進及び環境美化意識の向上を図った。たばこのポイ捨て防止及び路上喫煙キャンペーンを実施し、環境美化と喫煙マナーの向上を図った。	環境美化自主活動 実施回数 191回 (参考R6:224回) ごみ回収量 3,937kg (参考R6:6,678kg) 参加人数 6,214人 (参考R6:6,026人) ポイ捨てキャンペーン 参加人数 212人 (参考R6:218人)	環境基本計画・地球温暖化対策推進事業
取組③			
取組④			
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	第2期ふじみ野市環境基本計画後期行動計画の5つの基本方針(1)「学びと協働の推進」、(2)「脱炭素社会の推進」、(3)「環境負荷の少ない循環型社会の構築」、(4)「環境にやさしいまちづくりの推進」、(5)「自然と調和した環境づくりの推進」に基づき、様々な施策を実施した。 「環境学習館えこらぼ」での各種事業展開や環境フェア等を実施し、環境にふれあう場を広く市民に提供するとともに、環境活動団体を支援し協働事業の推進を図った。市民向け住宅用スマートエネルギーシステム導入促進補助金及び電気自動車等導入促進補助金を助成を行った。また環境審議会を通じて、ゼロカーボンに向け、市が今後取り組むべき環境施策を市民とともに協議し、「武州さすてな電気ビジネス」を市内公共施設22施設に令和8年度から導入する事を決定した。また庁用車の電気自動車の導入、公共施設の節電や空調設備の入替を行った。今後もゼロカーボンに向けた取組として、廃プラスチックを含めた廃棄物から排出される二酸化炭素削減に向けたごみ減量や分別の周知徹底、協定事業者と市関係課で構成するふじみ野市カーボンニュートラル協議会で新たな施策を研究し、市民、事業者とともに協働した取組を行う。地域環境美化自主活動はふじみ野市地域クリーン推進委員会において、地域環境美化自主活動(ごみ0運動)の参加者が多い自治組織の工夫内容を紹介する等、引き続き参加数増に向けた取組を進める。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	